

新時代の要求に致合したし 理想乾板新着

現在の力を活かし、更に何物かを求めやうと絶へず努
力せらるる好事家諸君!!

あなたの創作慾を満足せしむべき理想的乾板が
今回豊富に入荷致しました、是非御試用を乞ふ

露敵に度の速い

ライオン、エクリプス乾板

H.D.六五〇度

何と素晴らしい速さではありませ
んか?

雨ふりの日も

曇つた日も

室内でも、夜間でも

驚く程効果があります

暗室不要液を裏塗した

ライオン N.F. パックス乾板

裏塗した薬がハレーション防止の偉
功を奏し、スクリーンを用ひずして
黄や赤に好く感光する藍色乾板であ
ります。

雨も曇りも、板を現像液へ浸せば裏
塗薬が溶けて暗室不要の効果も挙げ
ますから全く取扱容易であります。

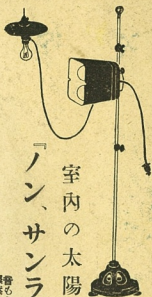
寫真の趣味



編生の巻

東京 東町二丁目 小西六本店 大坂 長瀬 店

夜間撮影の福音

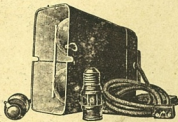


室内の太陽

「ノン、サンライト」現はる!!

昏もなく、煙もなく、一萬種以上の強光
燐素と毒を、夜を畫にする新發明品

(特許出願中)

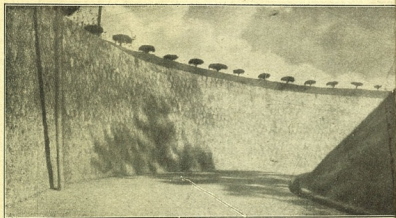


寫場に於ける夜間照明の装置は、完全を期するには、影から必費用と、大なる設備を要するので、其の多くはマグネシウム閃光粉に依つて之を行ふ爲め、強烈な爆音と、不快な煤煙とに折角の感興を殺ぐのみならず、時に不測の危険を伴ふ憾みがあります、之を一般好事家に就て見るに、寫眞撮影の機會は、決して畫ばかりに阻まれるものでなく、寒く家庭に於ける諸種の記念撮影、若くは社交上の意味に於ける小集會撮影等は多くの場合、室内に夜間であり、従つて照明の方法も出来る丈簡單であり、安全第一であつて何且つ畫間同様効果を舉げ得るものでなくてはなりません。

新發明は「ノン、サンライト」は御家庭の電燈に極めて簡単に装置し得られ何等の不安なく、一萬種以上の光感がない計りでなく、瞬間撮影に道閃光粉に比し頗る安價であります。

電球二個、ブラッゲ、
コーン、ニューズ六尺附
一組 十四圓
但支持臺は附屬せず

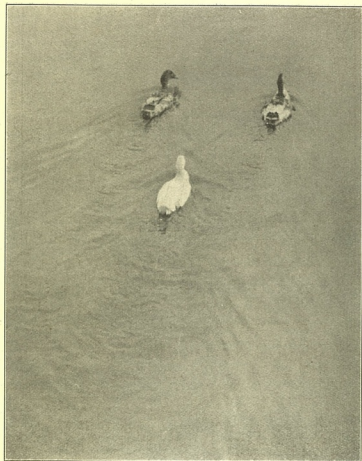
東京目黒二丁目 小西六本店 支店 大阪長橋店



秋の日ざし 永江博

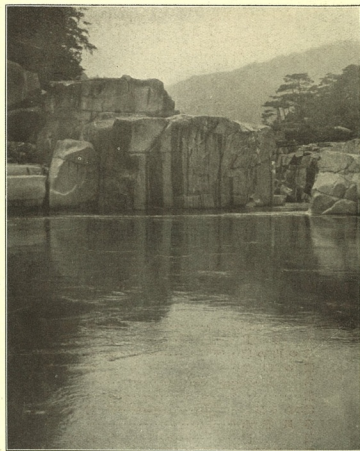
目次

表紙	少	女	永野真弘
挿畫	碧小塔濱大猫	春日の山	頭岩川雲
	深日朝の印象	江大寺三	樹二輝三
	雲のある風景	野村英夫	
	春風春水	竹内正夫	
	長趣味		
本文	鏡込みセルムの簡単な自製法	江頭春樹	11
	現像液のお話(一)	佐藤生	18
	時代の變遷と日光印畫紙	小林信	15
	キヤツトとキヤメラ	あきと	20
	寫眞の手藝	あきと	20
	質疑應答	江頭春樹	31
	誌友諸君に告ぐ		47
	誌友紹介		48
	談話室		10



小 春 日

大 岩 鏡 二



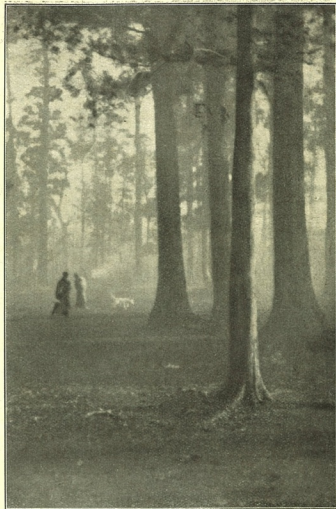
碧 潭

江 頭 春 樹



濱の印影

三雲軍三



塔の山の朝

寺川良輝



猫



犬

焼き込みヒルムの簡単な自製法

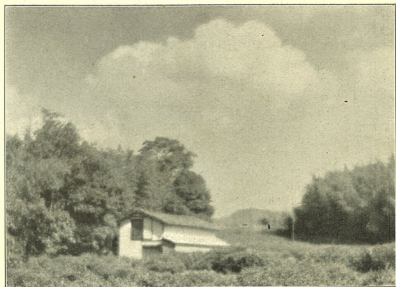
江頭 春樹

御座います。

印畫の一隅へ自分のネーム、マーク等を奇麗に鮮明に焼き込む方法如何と云ふ様な事を問はるゝ事度々で、又質問應答へもそうした質問の來る事一再ならず、又相當に興味ある、誰にでも應用の出来る問題と思ひましたので、茲に其方法の詳細を述べて見る事になりました。

外國で寫した寫眞、或は外國の製造會社から送つて來る見本印畫には、印畫の片隅に寫眞館の名或はマーク、などが極めて精巧に焼き込まれてある事は此種の印畫を見馴れた人には周知の事實で

印畫を基紙に帖らない場合、例ば寫眞繪端書の如き者に、夫が自己の製作に係る事を證明する爲にも、又大形印畫紙の中央に相當の餘白を置いて畫像を焼き込み全面に裏打ちをして台紙代りとする最近の傾向に於ても夫が非常に必要であり、又頗る氣の利いた趣向であるので、本邦寫眞家の中でも此方法に着目する人は少くなかつたのでありますが、扱て如何にして斯く精巧に文字を焼き込む可きかと云ふ事は永年の疑問として残されてあ



雲のある風景

野村 英夫

りました。

雖しも紙の附く事は原板の膜面の適當な位置に文字なり模様なりを書き込む事ではありますが、是非左文字に書き込まねばなりません、畫像の美觀を害せざる様な繊細な、而も圖案的な文字を左文字に書き込むと云ふ事は到底素人の手には了へぬ事で、是非相當の専門家に頼まねばなりません、數多き原板に向つて一々専門家の手を煩はすと云ふ事は、時間の點からも、經濟の點からも到底實用になり兼ねる事でありませぬ。

そこで今度は一々原板に書き込む代りに、極めて薄い「セルロイド」のフィルムに文字を書き込んで、焼き付の際に原板と印畫紙の中間に挟んで焼付ければ、畫像の尖銳度を害する事なしに、畫

像の任意の位置に焼き込む事が出来、而も一枚のヒルムで永久に幾種の原板にも應用する事が出来る、是が所謂「焼込ヒルム」で、此目的に向つては一番理想的の者ではありますが、中間に挟んでも畫の尖銳度を害しない様な極度の薄いセルロイド板が市場に得難い事と、よしフィルムはあつても繊細な美術的文字を肉筆で書き込む事の困難は依然として同じ事でありませぬ。

嘗て小西本店より「イーストマン」會社に向つて此焼込フィルムの簡単な製法に就ての教示を乞ふた事がありました、其時の回答には薄い「セルロイドフィルム」に活字か或は謄誤印で印刷し、其肉が乾かぬ内に油煙或は石墨の様な黒色顔料を振り掛け、餘分の粉を拂ひ落せばいと云ふ事であ

りました。

成る程、活字や謄誤印で押す事ならば肉筆で書く事よりも其手數に於ては遙に簡便ではあります、其結果に於ては、如何に上手にやつたとて普通印刷物以上の精巧さは望まれない事であり、寫眞に焼き込む可き文字として到底満足す可き者にならうとは思はれません。

況んや自分の氣に入る様な圖案的な文字を活字や謄誤印に求むる事は、金に絲目を付けぬ人ならいざ知らず、普通簡車には到底出来得べき事ではありません。

斯くて理想的な焼込ヒルムの製法は未だに一種の疑問として未解決の理に残されてあります、所が此水い間の疑問は、轉寫現像紙の發明と共に

一舉にして解釋されました。

普通寫眞術の心得と、中學程度の用器畫を學んだ人ならば難にでも、極めて簡単に而も驚く可き精巧な焼き込ヒルムが只半日で出来る、私が今茲に述べんとするのは其方法であります。

先づ始めに焼き込むべき文字の書體、排列方法等に就て意匠を凝らし、然る後に夫に依つて原稿を書かねばなりません、次に複寫に依つて引き縮めるのでありますから、原稿としての文字は如何に大きくても差支ない、大きい程書くに樂であり又引き縮めてからあらが見へなく繊細鮮明に出来る利益があります。

如何なる書體を如何なる組合せに列べるかは各各の趣味と嗜好に屬する事で、他から指し圖の限

りではありませんが、餘り肉太の字を白抜きにすると餘りに目立ち過ぎて、稍もすると全體の畫調を毀す恐れがありますから、大なる文字は二重文字で、小さい字は一重でもよいが成る可く筋細な書體を用ふる方が、目觸りが軟かで畫に障りが無いかと思はれます。

そこで、意匠が定まつたならば、四ツ切位の畫學紙に鉛筆と定規とで二分角位の基準目の罫を引き、コンパスと烏口と定規とを用ひて其中に任意の文字を大きく書き並べる（説明圖）ので、此方は中學程度の學生ならば誰しも心得て居る事であつて又極めて容易の事であります。

又少し器用な人で自在畫的に圖案文字や模様を書き得る人ならば、尙ほ面白く氣の利いたマーク

を描く事も容易の業であります。

斯くて原稿が出来ましたならば、是を垂直な板か或は壁面にピン留めし、プロセス乾板か引き伸用轉寫現像紙を用ひて（普通乾板でも差支ありませんが寫度早過ぎで黒白の差淡きに過ぐる意あり）、任意の大き、即ち印畫に焼き込む時の寸法に複寫を致します。

此場合に注意すべきは原稿には成る可く平均にむらのない様に光線を當てる事、絞りを小さくして文字のピントを極度に尖銳に寫す事、現像液には普通の場合の五倍位の臭素加りを加へ、又自分と適合する人ならばメートルを除き、ハイドロキノン丈けにし、黒い所を極度に濃く白い所を素硝子同様になる様に仕上げる事です。



ROKUHSHA
TOKYO JAPAN

のもるたま込焼てひ用をムルヒミ込焼

此複寫に用ふる乾板或は轉寫現像紙は焼き込む文字乃至模様を含む丈けで事足るので、名刺、或はベスト判、或は夫以下でも澤山でしょう。

次に焼き込む寫眞印畫の大きに相當する黒紙を作り、其焼き込んだりする位置に其文字なり模様なりが全部はいる丈けの穴を明け、其穴に前記複寫した文字の原板を當て、之を以て轉寫現像紙、密着用)に焼き付け、現像しますと圓の如くになる、之を乾かしてから一端から膜を剥がすと、奇麗に剥げて一枚の極めて薄い焼込ヒルムが出来ります、但し此焼込ヒルムは片面がコロヂオン膜で、片面がゼラチン膜ですから、空氣の乾濕に依つて或る一方へくるくと巻き込む缺點があります、故に轉寫紙がまだ濡れ居る内に其四邊の周圍を稍

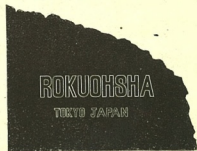
厚い黒紙、若くは赤いセルロイドを以て橡張りし其盡乾かし剥がしますと、橡張りの黒紙はゼラチン膜面と膠着したまゝ一所に剥がれて来て、隙子の様になり、巻き込む事がありますから、夫を寫眞原板に密着し、其上に印畫紙を當て、繪と同時に文字をも焼き込んで仕舞うのです、書くとき大變六ヶ敷い様ですが、實際にやつて見れば案外に容易に且つ面白い者です。

皆さん、此記事と首つ引きで一つ御試みになつては如何です、實際上御不明の點あらば御申越次第御助言いたします。

ROKUOHSHA

TOKYO JAPAN

を 稿 原



く し 寫 復



る け 付 焼 へ 紙 像 現 寫 轉

現像薬のお話

(一)

佐藤生

苦辛慘澹構圖を考へ、探光を工夫し、ピントガラストと説めつことを繰返し、或はフアインダーをためつすかしつ、絞りの大サや露出の時間を判定し、さてシャッターを切るまでを、寫眞撮影の物理的操作としますれば、其次に来る現像作業は化学的操作の第一階程とでも云ひませうか。

赤燈下に取り神からバットへプレートを移し、現像薬液を注ぎ掛け、カタリカタリ、秒一秒、鼠の様な眼を覗して全精神は方尺にも足りないバット中に集中されます。此の時の樂みと云ひませうか。

其の妙味は寫眞をやらぬ者、又はやつても丁度杜鵑式に寫すだけ寫して後の一切を盡く所謂コダックワークにお任せする人々にはこの味は到底分らない事と思はれます、實際こいらが寫眞の妙味のクライマックスとでも申しませうか。

現像は被寫體が一葉の陽畫となるまでの操作中の最大難關であるのに、反つて往々輕々に見做され易いのでありますが、如何に露出は適度に、探光構圖は妙であつても、此の操作一つで折角の苦心を水の泡と消へしむる事々々です。

反對に現像液の所を得た活用により助かりそうにも思ひなかつた物をも、充分用に耐へうるものとする事も出来ませう、こんな起死回生の活手腕

は、現像薬の性能や取扱ひ方、乾板フィルム乃至印畫紙の性質を呑み込んで初めて得られるコツであります。

被寫體を一葉の陽畫として觀るまでに少くとも二回の現像操作を経ねばならない此の現像とは、一體どんな化学變化であるか、現像薬とはどんな薬品で、どんな作用を管む物でありませうか。

多くのアマチュア諸君は管入りのM/Q現像薬を購ひ求め、其處定通り二液とし等量をとつて水で稀釋し現像を行ひませう、勿論之で現像は間違ひ無く行はれます、しかし何の理由によりM/Q

一本は上下二ツの部分に分けてあるのでせうか、少量の部分は何で、多量の部分は何物でありませうか。

總じて日本人は餘りに物事に淡白です凡ての疑問をさらりと水に流して、西洋人の様にとどろ／＼までも追ひ詰め、解決し様と云ふ執念深さがありません。

早い例が今のM/Qの問題でも、何で二部分よりなるのか疑問も抱かず唯々として處法通り、使用法通りやつて居られる方が多い様であります。

M/Q現象薬は、メトールとハイドロキノンを主薬として調製されたものであります、それならどうゆう特長が有つて、メトールのみとせず又ハイドロキノンのみとせず混ぜたのでせうか、若し

メートルのみで現象したならば、どんな板が出来上るであろうか、一體メートルと云ひ、ハイドロキノンと云ひ此等現象はどんな性質を持つたどんな薬品であろうかとまあ一斑が分つて来るとこんな風に考へて行くのが、順序でせう。

ここまでつきつめて、寫眞の趣味は細々深く廣くなつて行くと思ひます、またこうなるのが當然でせう、何故ならば、化学或は物理学の様な比較的高尚なものを最も通俗的に、普通の娯樂、趣味乃至家庭の生活と、融合密接させたものを舉げれば、それは寫眞術とさへ云ひ得るからであります。

前置は大變長くなりましたが、要は趣味の寫眞家たる皆様の御参考にもと現象に關連したこともを少しく書かせて戴きたいと思ふのであります

□ 現象とは、現象薬とは

乾板フィルム感光面は仰承知の如く、微細な臭化銀粒をゼラチンを支持膜として即臭化銀ゼラチン乳劑を、一樣にガラス板上或はセルロイド面上に塗布密着させたものであります、即畫紙に於ては、ガスライト紙は塩化銀ゼラチン乳劑を、臭素紙は臭化銀ゼラチン乳劑を紙上に塗布したものであります、この臭化銀、塩化銀の光線の作用を感受した部分の粒子のみを金屬銀に還元する（他の光線を受けなかつた部分の粒子は還元せず）化学作用を現象作用と申します。

現象作用を奪む所の薬品を現象薬と申します。

□ 現象液の骨子

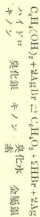
現象薬のみの水溶液で現象しようとしても其日

的は達せられず、全く現象作用なきか、あつても極めて緩慢で用ふるに足らない事は、メートルのみ或はパイロのみの水溶液で現象しようとしても其目的は達せられないでも分りませう。

此の現象薬の水溶液に、炭酸加里、炭酸曹達或は苛性加里の様なアルカリを添加することにより初めて其特有の現象機能を發揮するのであります（或る特殊の現象薬にはアルカリの追加なしで現象作用をなすものがあります、このアルカリを現象の促進劑と申します、普通用ひられるアルカリは炭酸曹達、炭酸加里で、苛性曹達、苛性加里は極弱き薬等用ひられます。

アルカリがどうゆう理由で、現象の促進作用があるかに關しては次の如く考へられて居ります。

現象薬が光の作用を受けた臭化銀鹽化銀を還元して金屬銀とし一方に臭化水素酸鹽化水素酸を生成致します、之をハイドロキノンに例に採つて其の化学方程式を示しますれば、次の如くなります。

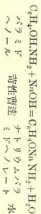


この場合臭化水素酸が増しますと、逆の反應が起り平衡の状態となり現象作用は進行しないこととなります、アルカリは生成した臭化水素酸と作用し之を中和し、酸の逆反應を破壊し、従つて現象作用はどんどん進行し、方程式に於て左から右への化學變化が最後まで遂行されることとなります、それならばアルカリを生成する臭化水素酸を中和するに要する、即理論的數だけ添加した

ならば、現像作用は行れるかと申しますと、現像作用は行れないのであります、即理論數量より遙に多量を加へなければ現像薬は其の機能を示すに至らないのであります。故にアルカリは此の中和作用を行ふのみでなく、一方に更に現像作用の大切な役割を持つものである事が分ります。

アルカリは現像薬とも直接化合して、現像薬のアルカリ鹽類を形成し、この鹽類が現像薬其自身より還元性数等大であつて現像機能を充分に發揮するものとなるのであります。

今之をバラミド・ノールを以て示しますと、



このナトリウムバラミド・ノールはバラミド

D・ノールよりも還元性非常に大なるものであります、アルカリは前の中和作用とこの鹽を生成する作用とを兼ねものと考察するを妥當とします。

現像薬の水溶液を空気に放置致しますと、徐々に着色されて行きます、これは其接觸してゐる空氣中の酸素の酸化作用を受ける爲であります。

この酸化作用は、アルカリの存在する時は一段強烈味を加へて來ます、若しこんな液で現像を致しませうなら、ゼラチン膜は汚染され、カブリは惹き起し易くなります、此の液の着色されるのを防ぎ、長く清らかな液として且つ現像能力を保持させる爲に加へるものは普通亞硫酸曹達であります。

此の亞硫酸曹達を保潔劑と申します。

亞硫酸曹達が現像薬の酸化されるのを防ぎ、ゼラチン膜の汚染されるのを軽減する理由として考

(られて居るのは大體次の通りであります。

空氣中の酸素が現像薬中に入りますと共存する亞硫酸曹達は現像薬より、酸化作用を受け易く自身先に酸化されて、現像薬の酸化されるのを防ぎます。

一方に於て現像薬の酸化生成物で、汚染の原因となる色素等は亞硫酸曹達の爲還元破壞されて、汚染の原因は根本的に除去されることとなりま

す。

乾板フィルム、或は印畫紙の現像中よく一面薄く黒ずんで、折角透き徹つて仕上る筈の原板も、眞白に上るべき陽畫も、不愉快な霧に閉された様

な具合になる事が御座います、之も一般にカブリ或はホツグと申します。

カブリの原因は種々ありますが、乳劑固有の化學的カブリ、餘り濃厚な現像薬を用ひたため、度を過して現像を押ししたため、或は暗室ランプの不完全や、取扱ひの不注意等より起ります。

乳劑の最初からもつて居るカブリは如何とも救済の見込みは有りませんがしかし幾分は十分に露出を與へて置いて現像液中に臭素加里を加へて現像することにより軽減することが出來ます、又濃厚な現像液を用ふる時も、臭素加里を加へてカブリの起る事を防ぎます。

臭素加里のこの働きを抑制作用と申し臭素加里を抑制劑と申します。

臭素加里の代りに臭素アンモン、沃土カリを用ふる事も出来ます。

要言しますれば現像液は一般に、メトル、パイロの如き現像薬、炭酸ソーダの如き現像促進劑、亞硫酸ソーダの如き保恒劑、及び臭素加里の抑制劑の四成分を具備して初めて完成されるもので、之等四成分は現像液と云ふ家薬骨の四本柱とも喩へられます。

皆様目管御使用になる、六機社製サクラ現像薬にしるコンク現像薬にしる將たユニオール、M Qにしる、これだけの成分は持つて居るので、サクラ現像薬、コンク現像薬は此液中に總ての成分を含有し、ユニオール、M Q等は一管中少量の部分には現像の主薬を、多量の部分には促進劑、以下

の諸成分を量り込んで有るのであります。

此の四成分の役割を熟知し、其特有の機能の活用と、乾板フィルム、印畫紙の性質を呑み込むことと相俟つて初めて完全なる原板、優秀なる印畫を作成する基礎は涵養されるのであります。

(未完)

時代の變遷と日光印畫紙

小林 湜 信

永い冬眠から目覺めて、萬日一新の春は吾々趣味の寫眞家を再びこの天地に活動せしむ可く、全ての好都合な要求や、慾望に便宜を與へて呉れませう。他らに己がレンズの働き振りを疑つて見た

り、乾板やヒルムの鏡感をかこちつゝあつた人々も目づと微笑の内に其作品を迎へ接するのグッドチャンスが到来した譯です。

此時に當つて各々好みの方法に日覺ましく活躍せらるゝ事と期待して居ります。作業上の好都合は勿論の事、畫の探索も心地良く出来るでせう。

天然色オートクロームも是らが絶好の期、然して日光に親む所の大なる日光焼付の印畫紙にも亦最も良いチャンスが来つゝあるのです。

寫眞術の生れ出た頃には勿論現今の様に、陰畫原板を得てから寫眞畫を作り出すと云ふ事が出来ませんでしたから、日光に依つて出来た物體の陰影を硝酸銀液の塗つてある白紙上に直接に焼き付ける法で、則ちシルエツト(影繪)に外ならないのでした。

そしてそれに要する焼付の時間は非常に長くて

其頃のモデルに成つた人はさぞかし閉口した事と考へられます。

これはウエツヂウッドと云ふ人が工夫をしたもので、彼は其紙を其當時に出来て居た「カメラオプスキエラ」と云ふ現今のカメラの祖先である所の「のぞき暗函」に利用して風景等の畫像を得ようと試みましたが、暗版銀を塗つた紙では感光度の鈍い爲めに失敗に終つたのです。

これが若しも感光したとしても反対の畫像則ち白い物が黒く黒い物が白く出る理由です。

現今の様に陰版原板と云ふ物があれば此暗版銀の塗つてある紙を當て、日光に露出せしめ畫像を得る事は出来ませんが、其時代には只畫像を作り出すと云ふ事が重大な問題であつたのですから此種

な事は思ひも依らなかつた事と想像せられます。

處が暗版銀の代りに鹽化銀を用ひて畫像を得る事に成功したデーグワイと云ふ人がありました。

併し出来上つた印畫を定着する可き藥品の發見せられて居なかつた爲めに、折角出来ても日光に當てれば感光しなかつた部分にまで感光して仕舞ふので感光を止める藥品の出現を望んだのです。

其後遂にハーシエルと云ふ人が今のハイポナー藥品が定着の重大な役目を持つて居ると云ふ事を見發され、以來現在の吾々に至るまで、其有難い御恩を戴いて居ると云ふ譯なのです。

其他ニープスとかダゲールとか多くの人々に依つて遂に寫眞術なるものが完成せられたのであります。兎に角種々なる苦心の階段を踏んで畫像を、

紙の上に焼付ける事の出来る様になつたのは最近六七十年前からで、それには先づ日光焼付の印畫紙が始めであるのです。

其祖先はと云へばウエツヂウッドやデーグワイでありますから大いに感謝をせねばなりません。

日光印畫紙と銘を打つて一般に用ひられた最初の印畫紙は鶏卵紙であつて、我國では慶應年間から、明治二十三四年頃の間盛んに用ひられました。其後はビーオービーや、セロイデン紙に其勢力を奪はれて今では全然其姿を見る事は出来ません。吾々の祖父母や父母の若い時代の古い寫眞には、これを用ひられて出来て居る氣取つたものを等に折に觸れて見出す事があります。

ビーオービーやセロイデン紙の他にザルツ紙と

云ふ日光印畫紙も有りましたが、是は一部分の人に使用せられて居た様です。鶏卵紙の次に相當市を利かせて居たのはビーオービーであります。現在では殆んど説明的な方面に用ふるのみと云つても良い位置に成つて居ります。

ビーオービーと同時代に高等印畫紙とせられて居たのは、セロイデン紙で我國ではアリスト白金紙と稱して人像寫眞には最も重用せられたのです。處が先年の歐洲大戰の物資と共に、材料供給等の關係上遂に印畫紙の大勢は現像印畫紙に變遷せられ現在に至つたのです。

セロイデン紙の美しい調子は到底現今の現像印畫紙の及ぶ可きではありません。如何程アーチュラやワイタヴァのグラデーシヨンが人像に適して

居ると賞讃してもセロイデン紙の様なグラデーショナルには遠く及びぬ事です。

前述の印畫紙も、ビーオービーを除く外、今日では現像印畫紙に其勢力を奪はれて、一般寫眞家でも亦アマチュア寫眞家でも用ひて居る人は殆んどありません。

今日日光印畫紙で用ひられて居るのは、セルフトリーニングと稱して只ハイポ液のみにて仕上げを行ふと云ふ簡単な印畫紙で特にアマチュア寫眞家に歡迎せられて居ります。

日光印畫紙が衰微したのは時代の變化が新しき物を要求した結果もあります。が日光印畫紙の様な作業上の繁雜や能率上に關係のある事は現代の氣短な人々には向かなくなつて來たのです。例

へば印畫紙とする原紙に鶏卵の蛋白を布き硝化銀等の感光藥品で感光作用を起す處の鶏卵紙は、蒸^{ディロン}調の長いと云ふ特長はありますが、其保存力に至つては實に弱いのです。

ビーオービーに於ては、印畫膜が阿膠^{ゼラチン}で作られて居て、其感光成分には鹽化銀と其他幾分かの有機酸類と硝化銀が含まれ乳白劑^{ニグロシン}が出來て居るので、ビーオービーの乳白劑^{ニグロシン}は水を多量に吸收する爲め、夏期の温度の高い時期には膜面を損じ易いので、晒れ物にでも觸れる様に大事に取扱はねばならぬのです。

セロイデン紙に至つては、膜面の溶解など、云ふ心配は少しもありません。それは阿膠^{ゼラチン}の代りに、コロヂオンを用ひてある爲め、感光成分^{ニグロシン}には、

矢張り鹽化銀が用ひられて居るのです。併し此印畫紙は仕上の際に藥液中に浸すと、巻き付いて困ると云ふそして膜面にヒキの出來ると云ふ缺點のある代物です。

兎に角是等日光印畫紙の體験を通じて、焼付から仕上げまでには可成りの時間を要し、全て氣長に行はねばなりません。若しも曇天や雨天の場合には、其能率は全然ゼロと云つても良い位の大缺點を持つて居ります。入梅時の様に毎日強烈な太陽を拜む事が出來ない筈と云つたらば焼付は更に進行しない事でしょう。

十年斗り以前までは相屋の明後日と並べて寫眞屋の明後日と云ふ言葉が有つたのも、それ等の缺點の爲めに當然作られた避口なのであります。

こうして日光印畫紙は衰微して來ましたが、古

くから最も趣味ある印畫法として賞せられて居る護謄印畫法があります。手数を要する丈に其努力に報ゆる快味の大なる事は申すまでも無い、其處理法は純然たる藝術であります。是れの特長は印畫紙を自分で作る爲め自由な原紙を選ぶ事が出來亦自分の好の色彩調に焼付る事が出來るので、

感光主要成分たる重クロム酸^{ニグロシン}（加し又はアンモニア）と好みの繪具をアラビアゴムに溶かし込み原紙に塗布し、焼付、水洗、干燥と云ふ順序を反復十二三回位を繰り返します。これが亦ゴム印畫法の特長なのです。以上述べて來た他にも直接日光を利用して焼付を行ふ青寫眞、カーボンツシユ等がありますが後日に譲ります。日光印畫紙が時代の要求に如何程の關係を作つたか興味ある問題であらう思はれます。（をばり）

キヤットとキヤメラ

カリン、カドビー

(PHOTO—EKAから 著者より)

私達が寫眞のモデルとして猫を取扱つた時に猫好きの友は驚いて言つた。

「君は猫を理解して居ないね。我々が猫を取扱ふには彼に對する周到な注意が必要なんだよ、君は犬を撮るには慣れて居るがね。」

實際、私達は犬を取扱ふには充分慣れて居るが猫に對しては、殊に彼の複雑な性格に對しては何等の研究をも爲て居ないのであつた、にも拘はらず私達は猫をモデルに使つたのである。猫の心理などは別に考へもしなかつたので、例時もの犬

と同様に猫を取扱つたのであつた。例へば彼の食事に殘飯を與へても猫が夫れを喰はなかつたら、彼は腹がすくだらう。戸口に猫が居る時に、彼が通らずにぐず々々して居るならば、這入りたくないであらうと脈を閉める、位な理解を以て。

然し私達の知つて居る範圍に於て猫に就て書いて見やう。

若し私達が自分の臺所に居る虎猫のヂェンを使つて撮つたなら、私達の取扱ひ方でも或は成巧したかも知れなかつた。然し寫眞にするに就て私達

は美的で上品に育つた、優雅な可愛らしい、身體の釣合の取れた猫を必要とした。夫れにはベルシヤ猫を使はねばならなかつたのである。御承知の通り其様な完全な猫や、生粋の交り氣のないベルシヤ猫は滅多には居ない。これ等貴族的な猫と比較して、わが臺所の虎猫などは其性格の眞實質朴さは殆ど犬の如うなのであつた。

私達の不適當な取扱で問題となつたのは、テオドシアと呼ぶ猫であつた。彼は態度の上品な、立派な動物で見るから美しい快よい猫であつた。

彼が暖物の前に座り込み入り、日當りの良い窓枠の上で體を展ばしたり、した時の姿は私達の室の立派な裝飾品であつた。彼の美事な黄色い目球は寶石と輝き、小さい耳は扇子か、貝殻のつや々かさをもち、灰青色の彼の毛皮には光と影の美しく

私達がテオドシアに依つて藝術的の對象を得た事は否めない事柄であつた、然し私達の目的はカメラに對して或るモデルを必要とするので、私達の室に裝飾を必要とするので、はなかつたのである。寫眞のモデルとして彼れテオドシアを選んだのは失敗であつた。

猫はじつとして居ない動物である。テオドシアは何の必要の爲めに自分が伴れられて来たかを知り而して其伴られて来た事實に不満であつたのは疑ひない、多分彼は、ベルシヤ猫を或る何等かの目的に役たてやうと私達が考へるのは不都合な事だと彼れ自身思つて居たに相違ないのである。如何

に彼れが私達と一しよに温順にして居る時でも、カメラの目録は彼を、温順な猫から狂つた猫や敵意を持つ驃馬に變化させるのであつた。

不幸にしてカメラの持つ能力を發揮させるには、モデルを少時一つ場所に靜かに置かねばならぬ。私達の今の場合は白い布に蔽はれたテーブルの上に彼を置く必要がある。此少時の必要な状



態を彼れテオドシアに保たしめると共に、彼を退屈させぬ爲めに私達は、靜かに彼のお相手を試みた。けれども一度撮影に取り掛るや、靜穩は保たれなかつた、テオドシアは一瞬の猶豫もなく、突進し飛び掛り、猫の如く窓掛布に高く跳せ上つて撮影を妨げるのであつた。私達は如何に優しく彼れを尋かうと試みても、私達は醜い驃馬の如うな恰好で蹲いて動かない猫に對して居なければならなかつた。怒れる尾をふるわず惡魔的表現を持つ彼を鞭によつてのみ效力を持つ驃馬なみに取扱はなければならなかつたのである。

然しながら撮影から離れてのテオドシアは非常な魔惡的の性格を持つて居た。而して彼自身は手のつけられぬ悪いモデルであつたけれども、一面に於て彼は私達の最良のモデルであつたのである。

テオドシアが仔猫を生んだ、夫れが生れた日に虎

猫チエンは大きなわらを以て臺所からあらはれた私達はチエンをテオドシアの家庭の奉仕者とし、テオドシアの小供の乳母としたのであつた。私達は貴族的なテオドシアが母性義務から免かれる事を喜ぶであらうと考へたからである。けれども夫れは私達の考へ違ひであつた。私達はテオドシアを慰める爲めにチエンの仔猫を彼の養ひ子とする必要を認めないのであつた。

取り換は好結果を得た、テオドシアも矢張世間並の親類と合縁に子猫を育てるのが好かつたのであつた。私達と彼れとの此交渉は成巧であつた。テオドシアは彼自身の仔猫が近づくと事を許さなかつた、もし仔猫が彼に近づいた場合には烈しく叱り退けられるのであつた、テオドシアは私達に

すつかり脱離化してしまつたのである。

彼テオドシアの仔猫は立派に生たつた、私達は信じた通り質朴なチエンに養育された彼は申分のたい優良なモデルに育てあげられたのであつた。

私は彼の歩く自然の姿を撮らうと試みた。其時は彼は白布を掛けられたテーブルの上に、カメラに見つめられながら眼つて居たのである。私達は彼が起き上つて體をうんと展して歩き出す、其瞬間の姿を撮つてやらうと、細心の注意を拂つて其時を待つた。彼は黙く眠つた夫れは私達に取つて随分長い、待遠しい時間であつた。

彼以外の二匹のベルシャ猫は私達自身の手で育てたのであつた、これも相當に良いモデルに育つたのであつた。始終其邊に遊んで居る彼等は私達に多くの教鞭を爲せた。極る調法な彼等であつた。



壁に背を向けて居る彼等の姿も興あるものであ

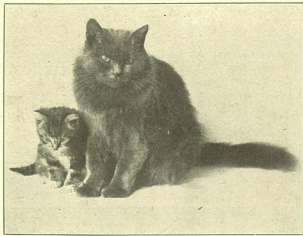
つた、彼等は一步々ナリ寄りながら、鳴きながら後退りする彼等の目は丸く光つて居た。

ベルシヤ猫である彼等は賞讃に慣する伶俐者であつた。而して少しの事にも驚き易いので、煙草の烟を吹き掛ける丈でも彼等を驚かすに充分であつた。



つた。私達は彼等が上品に育て上げられた猫地であるのを考へると、彼等の始末をつける事に頭を

私達が写眞のモデルとしてベルシヤ猫の必要がなくなつて後、彼等をやめやうと思つた。然し兎に角、彼等の物好みや原顔にも拘わらず彼等は私達の室、毛氈も敷かれて無い貧弱な室に於て、彼等は相當に色彩を添える役目を務めて居たのであ



なやまして見ては結局私達は敗けてしまつたのであつた。萬一私達が彼等の好きな食物を彼等に與へなかつたら、彼等は斷食をしてしまつてあらう、悠然と測歩する彼等の爲めに常に戸口を開けて置かなければ、彼等は閉め出しを喰つた戸外で盛岡に掛るであらう。私達は敗けた、何にしても彼等は美くしい、優雅である、而して常に愛嬌のある彼等である。私達は彼等の始末をつける事は出来得ない。

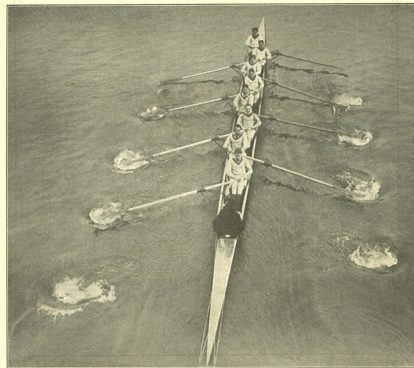
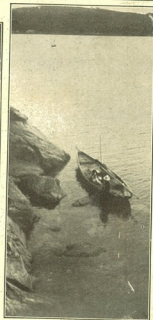
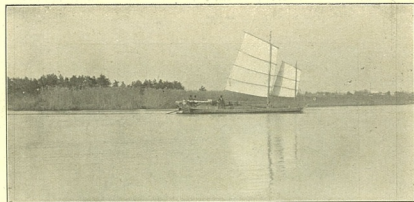
□

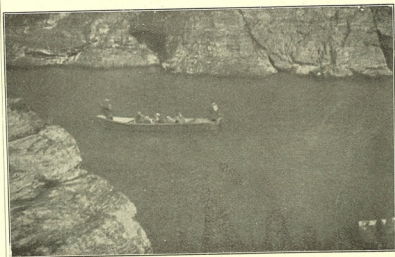
藝術的印象を作らうとする人には繪畫的に物を考へる事を學ばねばならぬ。故に提供された物、其物から離れて繪として見る事、線や形の配合が夫れ自身快い感じの満足な素地で形造られた繪として、見る事に慣れなければならない。(終)

春 風



春 水





舟が水の上を動いて行のが面白い。

舟と景色が好きでカメラは向けなかつた。

太陽は今將に落ちやうとして水の流れを引きつけるやうではあるが、舟は太陽に反逆して月の世界へでもつき進むかの様に見ゆるのは長瀬の景色である。その舟と水と岩とを愛さないと私はその舟が、この水と岩とを背景として光るのを見る事をおむ。この舟と水と岩と舟の動くのと、水の流れと岩の色とそれ等を幾年か年月の経過した時に、美しくしき思田とせんが爲めに私はカメラを向けた。私は私の思田に尊嚴なる價値を認める。夕照の長瀬は舟の動きと水の流れと岩の色とで美しくしき價値があるのだ。

竹内 正男

寫眞の手藝

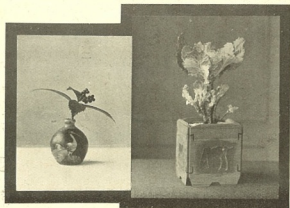
其二、植木鉢のカバーと一輪さし

植木鉢のカバー、木の薄板、五寸五分と六寸五分のヤ、長方形のもの四枚、四隅と下部を少し切り取つて恰好をつけました。寫眞はあきと、が秘蔵のブロンズの馬で帝室技藝員新海竹太郎氏作のもの、夫れを二つの異つた方面から撮つたもので、轉寫現像紙へ密着で焼きつけました。薄板の適當の部分丁度馬の體になる處丈にゼラチンで銀箔を置き、更に其上にゼラチンを引いて、前の馬の繪を其上に轉寫しました。丸刀へこれは木彫に使ふ乳物の名で馬だけを殘して其周圍を馬が浮

あきと

彫になる程度に削り、削つた部分はわざと刀のあとをつけて置き、其上から淡緑の繪具で塗りつぶし乾いてからサンドペーパーで軽く磨りました。馬は煙しを掛けた銀で浮彫となり周圍は緑の濃淡で夫れを引き立て、居り、一寸差懸のあるものが出来ました。出来上つた板の兩脇に穴をあけ、糊紐を以て繰り合せ、薄板の底をつけました。四方の四方に各一頭づゝの馬を飾つた箱、花を附けた植木の鉢の中に入れて書棚の上あたりで置く適當なものが出来あがりました。

一輪さし、これは、あきと、の貧弱な臺所の隅



に轉がつて居た小さい燧も、徳利であります。全體が茶色を帯びた淡風色をして居るので、其一部分を白のエナメルで塗つて乾かしゼラチンを引ました。寫眞は御近所の新宿園に居るハ高であります。これを轉寫現像紙へ密着で焼き付け、セビヤの調色液で仕上げました。前の徳利のエナメルを塗つた部分へメタ轉寫法で轉寫し必要以外の膜を削り取り、セビヤの油繪具で仕上げましたのであります。澤山のハ高の群から採扱されたベリカン君に依つて飾られた一輪さし。其ベリカン君の居る反對の側に天金の二字が書かれてありますのであります。此文字はわが一輪さし徳利君の前身を語るもので、彼は實に銀座の名物天金から、小生の臺所へ運ばれたものであつたのであります。

質疑應答

質問の要點を詳細に認め、六櫻社工場内、江頭宛郵送せられ、たし、急速回答を望まる、向、公表を欲せられざる間は、其旨附記し返信封封入あらば私信を以て回答す。

問

可なり久しい間寫眞に親しんで参りました。たが近頃最良の原版の濃さに就いて疑を持つ様になりました、或る人の最良と稱する原版は私の目には如何にも薄そうに見へますし、又他の或人は随分濃い者を作つて得意で居られます。いつか或る本か雑誌でしたか、讀んだのは、最暗部でも尖を活字の上に當てて見て其字

が見へない程黒くはない者が最良であると記してありました、最暗部の濃さと云ふ者は一體どの位の者が標準になる者で御座いませうか、御示教を願ひます。

名古屋市 太田貞子

答

是は極めて重要な問題ですが又極めて六ヶ敷い問題でもあります。

原板の一番淡い部分と一番濃い部分の濃さの比を其原板の照應と申します。

原板のコントラストは焼き付け可き印畫紙の性質に依つて異なる可きで、例ばコントラストベロックスの如き硬調の印畫に焼き付けるには成る可く濃淡の差の甚しからざる即ちコントラストの少き原板を用ひ、POPやセブラ、セルタ、カーボン、アーチユラー、等に焼き付けるには濃淡の差の相當に強きコントラスト陰畫に仕上げねばなりません、是は強弱相異なる二三の原板を用ひ、コントラストベロックス、アーチユラー、セルタ（或はセブラ）で焼き較べて見て二三の實驗をすれば自然に明瞭に列ります。夫から一見濃い所をどの位の濃さに仕上ぐ可

きかと申すに、夫は一番薄い所と較べて見ての話で、一番薄い所が素硝子同様に授けて居るとすれば、一番濃い所を新聞紙の上に當てゝ見て其活字が見へない位に濃い者はセブラ、セルタ等には適しますが現像紙には照應が強過ぎて到底物になりませんので相當明瞭に見へる位でなければなりません、併し一番薄い所が稍かふつて居る者では、最濃部は活字が全然見へなくなると位の濃さを持つて居て然る可き者です。

併し斯うした濃いとか淡いとか、照應が強いとか弱いとかと云ふ問題は到底話や文章で其程度を云ひ現はせる者でありませんからつまりは其道の先輩について實物示尋を受けるか或は自身で試験的に焼き較べて研究をするより外はあ

るまいと思ひます。

問

最近カメラマンの仲間に入りました、そして二三ヶ月前から『趣味』を讀んで居ますが、誌中諸々に『かぶり』と云ふ言葉があり相當重要らしい事とは思はれませんが其意味が判りません、どうか御説明を願います。

スクリーンを必要とするは如何なる場合でありますか、硝子の色合は幾種類あり如何なる色か如何なる場合に必要ですか。

我等初心アマチュアの日常常備すべき印畫紙の種類。

獨逸エルネマン製寫機に附着せる鏡玉に可_レリ_ニと云ふ者あり、RR鏡玉と較べて何

れが上等なりや。

廣島市 S N 生

答

乾版或は印畫紙を少しも光線に合せずに暗室の中で直ちに現像液に浸し、乾板ならば五六分間、印畫紙ならば二三分間現像します、無論何も出ません、夫を一寸水洗してハイポ液で定着して見ますと、乾板は素硝子の如く、印畫紙は純白な白紙に等しく見へるのが常道です、然るに、

- 一、乾板や印畫紙が非常に古い時。
- 二、現像液の調合法が悪いとか或は有害物が飛び込んだ時。
- 三、臭素加里の添加を忘れた時。
- 四、現像中の温度が高過ぎた時。

五、暗室燈光が明る過ぎる、若くは餘り接近して長時間照らし過ぎる。

六、一寸でも白光線に觸れる。

以上の内の一項或は數項に觸れたとすると、

印畫紙は純白にならずに薄鼠色に色づき、乾板は素硝子にならずに薄く煤ぶつた様になります。是をかぶりと稱します。

若し露出した乾板、焼き付た印畫紙を現像する際に前述の事項に觸れたとすれば、繪は型の如くに現はれては來ますが暫くにして日が暮れる様に全面一體に薄黒くなつて、繪として純白に上る可き所(即ち洋服のカラーとか小供の白エプロンとか、雪の輝いた所の如き)が薄鼠色になり、乾板に於ては素硝子の如く透明になる

可き所(黒髮、木の蔭、穴の中等の如き)が薄黒くなる、斯かる印畫乃至原板をかぶつた印畫或はかぶつた種板と稱し、到底上等の寫眞とはなりません。

かぶりを豫防するには前掲の各條に特觸せざる事が第一ですが、乾板やヒルム、若くは印畫紙の古い者、不良の者、光線を引いて居る者等先天的のがふりに至つては、其程度に依り現像液を冷くし、臭素加里を五倍位に増加し、露出若くは焼度を増し、現像時間を成る可く短くして引き上げる事に依て或る程度迄は救はれます。

二、紫色スクリーンは普通黄色と定まつた者で只其色の濃淡の差があるのみですが、普通は「六倍」と稱する濃さの者一枚あれば澤山です。

スクリーンを必要とするは、天窓の雲を判然と寫し出し度き場合、遠山、雪景、海景を寫す

時、菜の花、結草、紅葉、稻田、黄色の花、其他黄色の者を明るく出さんと欲する時です。

三、印畫紙は原板の濃淡に依つて夫々適當の者を選擇す可きです。

原板の調子強く濃厚なる者、黑白の照應甚敷者に對してはアイチューラーアイリス、セルタ、セブラ、セルトナ、P.O.T等宜敷。

原板の調子中度なる者には、
コンガス、アゾ、レギュラーベロックス等の内一種。

原板の調子薄く黑白の差少き者には、
コントラストベロックス、コンガス。

右の様に備へて置いて其種板の出來榮へて依て適當する印畫紙を使へば常に成功疑ひなし。

四、*Collin* とは其鏡玉の焦點距離が十六仙米なる事の意味で、鏡玉良否を判別するの意味とはなりません。 $F/7$ とか $F/8$ とか $F/9$ とか $F/10$ とかの数字に依つて其明るさが判り、*Tessar*とか、*Dagobert*

とか、*Heilla*とか、*Collin*とかの名に依つて其良否を判別するので、其名と $F/10$ とを何はなければ良玉より良いか悪いかを判断する事は出来ませぬ。

問

一、テスター鏡玉は比較的優良な者でしょうか
二、ヴェロ二類鏡玉とは何れが優良ですか。

三、アイデヤ壹號カメラにソフトフォーカスレンズを装する事が出来ませぬか。

四、初霜の巻の三ページに濃淡の變化の配列が載つて居ますが、フィルムにスクリーン使用の場合もある通りですか。

五、イーストマンフィルムには何現像液が適當ですか、私は總ての現像にアミドールを使用して居ますが、調合の簡単な代りに、何故が色調が弱々しくして奇麗に焼ける原板が得られませぬ。

六、趣味雑誌がありますから雇募し度いと思ひますが、實際隔月に奉送するんですか、去年專業の巻より三冊手許にあります、懸賞發表は初霜の巻にしかありません様です。

又懸募印畫は色調して構ひませぬか。

七、初霜の巻十七ページに『須摩寺の池畔』と云ふ寫眞及記事がありますね、あの記事中に「リヤをF₁₁に絞リ六倍スクリーンを装してシャッターは1/100秒とありますが、私のテストフィルムではとても不可能の事です、F₁₁位のレンズをF₁₁に絞るとF₁₁に絞つた時よりも明るくなるんですか、もつともあれは水面ですが、テストフィルム₁₀₀の明け放しても、秋の正午頃二丁位の近景を撮るに1/100秒にては露出が大分不足で薄い者になり、コントラストベロックスを使用しても到底駄目でした、其理由を御示下さい。

眞島縣直井清

答

一、テストフィルム₁₀₀鏡玉はあまり上等の者とは申されませぬ、F₁₁四割の方が遙に上等です。

二、アイデヤ壹號にはソフトフォーカスレンズは付きませぬ、アイデヤ壹號は名刺判です。

三、あの濃淡の排列は普通乾板で撮つた時の順序で、曇色乾板やヒルムにスクリーンを使用した時とは全然異ります。

四、アミドールは調合は簡單ですが陰板の現象には設食酸の方が遙に良好な結果を與へます、其處法は、

水	六〇〇、cc
無水亞硫酸曹達	七、五
水階酸	五、cc
焦性炭酸	壹、オンス

第二原液 無水亞硫酸曹達……七五、瓦
水……………六〇〇、cc

第三原液 無水炭酸曹達……六五、瓦
水……………六〇〇、cc

右使用に臨み各液一〇、cc宛を混合し水を加へて一〇〇、ccとなし、臭素加里十倍液二三滴を加ふた液で乾板或はヒルムを裏面から見て充分繪が現はれるまで現像を押せば色調の鮮明な力ある原板を得る事疑ひなし。

五、趣味懸募印畫は原稿のメ切までに集まつた分を奉送するので、寫眞版にして誌上に載せる事にしたのは初霜の巻が初めて、寫眞版にするのに困りますからセビヤの外は調色しないで願ひます。

六、初霜の卷十七頁に出して置きました須磨寺の池畔あれば實際には大分露出不足でした、無論天は初から到つては居ましたが、若い秋空に夢の様に浮んだ一團の雲を出す爲には、何としても F_{11} に絞らねばならず、又逆波がぎ一つと立つ中を鷺島が全通で泳ぐのですから是又 F_{12} 秒以上のシヤターでは到底留まりませぬ、此兩者に餘儀なくせられて、露出不足を覺悟の前で撮影したのでした、ですから現像は始から其積りで液を普通の五倍位に薄め一時間近くもかゝつて現像してやつと彼の位まで消ぎ付けたのです。

F_{11} を F_{12} に絞つても、 F_{11} を F_{13} に絞つても其 F_{11} たるの結果には變りなく、従つて露出時間ハ

同じ譯ですが、テスターの F_{11} と云ふのは聊か怪しい者で F_{11} の所まで廻しても天が實際の F_{11} であるや否やは疑はしい者です。

問、私は六種社製パール二號カメラを所持して居ますが是に附屬す可きスクリーンを求め度いと思ひます、名判判ですが何會社製の何と云ふスクリーンを求めたいのでしょうか。

パール二號の絞の式はU、S式でしょうか、F式でしょうか、酸性定着液を左の處法にて製作して居ますが一度も使用せざるに、四五日經つと沈澱物が出て來て氣持が悪いのですが效力に變りはないでしょうか。

處方

甲 水……………四五〇、cc
 結晶ハイポ……………一四、瓦
 水……………一五〇、cc
 乙 液 無水亞硫酸曹達……………二八、瓦
 並醋酸……………八五、cc
 甲液全量に對して乙液四五ccを加ふ。

愛媛縣 今 岡 雅 美

答

スクリーンには丸いホールダーがあつて鏡玉口にはめ込む様に出來て居ますから、只パール二號名判とのみにて其鏡玉が判明しないと隨つて何種と云ふ事が申上られませぬ、其鏡玉名(或は口經の寸法)を御知らせ下さい。

絞りの記號がUS式なるかF式なるかは其シヤターの種類に依つて異りますから、其シヤタ

一の型式が判らなければ是又申上られません、併し其數字が4、8、16、32、64、128と云ふ風に書いてあればUS式で4、63、57、11、16、32等の數字であればF式と思ふて差支ありません。

酸性定着液の濁るのは是れ疑もなく醋酸の過量に依る者です、並醋酸八五ccと云ふのを二五ccに減じて御覽なさいきつと濁らずに出來ます。

問

ミニエチユアークラツプカメラのホールカールプレンシヤター速度表は寫眞器の臺に表となりて取付あるも、其表は一部分(テンション12)の取扱に對する丈にして其他の數字に對する速度は更になし就ては12以外即ち0、1、3、

6、9の場合の速度御示し被下度候。

長野縣 國技準太郎

外數氏

斯の如き次第でして此質疑又は他の諸君へも御同様降参の外ありません。

答

貴下と御同様の質問が方々から柳の齒を引く如く参つて居ますが、是はどうも當方では判り兼ねますので、方々のカメラ通にも聞き合せましたが一も明確な解決をつけた人がありません。

勿論毎數字に就て一々其開口時間を實測して見れば判りますが、シャッター速度の實測は仲々面倒な事をしていそれと實行致し兼ねます。

尤も製造元でも此疑問には弱つたと見へまして近來の品は盡くシャッターの表を改正して一日瞭然と判る様な者にいたしました。

問

オートクローム板反轉判は過マンガン酸加里と硫酸と或は重クローム酸加里と硫酸と何れが正しき者に候や、小生は此反轉法を貴下發明の轉寫現像紙に應用し度く存じ候、何れが適當に候や、毎々御願致候直接撮影用高感光度轉寫現像紙は未だ御製出無之候や、小生の知己友人にて轉現直接撮影法に矚目する者多々有之過行の程度御何致度候。

岡山縣 崎 融

答

反轉法に於て重クローム酸加里と過マンガン酸加里とは殆んど同一の作用を營む者に

何れにて差支無之濃さも共に二%前後の液にて、宜敷候、只過マンガン酸加里の方は稍もすれば汚染を生ずるの惧もあるも、重クローム酸加里と硫酸なれば去る患なし、轉現紙反轉用としては黒クローム酸加里と硫酸の方宜敷と存候。

高速度轉現紙は既に出来致し目下發賣の準備中に候。

問

同封の引伸印畫に現はれたる汚點の原因と其豫防法初め黃褐色に現はれ乾燥するに従つて現物の様な汚點となるものであります。

家業の餘暇に寫眞を樂んで居る者ですが現像薬は既製品がよいでしょうか、又自分で調合するとしたら何がよいでしょうか其處方を。

答

ベスト判のロールフィルムとしてイーストマンの外にどんな種類がありますか、其間々の特徴と價格はいかゞでしょうか。

冬期ベストF₁₁にて廿五分一では度不足になりませうか、雪景ほどの位の露出でいゝでしょうか。

スクリーン（イーストマン製に非ず）があるのですが濃さが判りません、素人が試験するにどうしたらいいでしょうか。

埼玉縣 吉 原 久 一

御送付の印畫の黄色い斑は疑もなく定着のむらです、其部分だけ定着液が廻らなかつた爲に黄色の臭化銀が其處残留し、其臭化銀が日光に出されると共に鼠色に感光したので、故に未だ鼠色にならない、内に再び定着液に浸せば

黄染は跡方もなく脱れますが、鼠色になつた所は何としても脱く譯に参りません。

豫防法は定着の際にハイポ液中に完全に沈める事で、定着時間は少くも五分以上を要する事です。

現像液は既製品を買つても自分で調合しても同じ事で、自分で調合する事を面倒と思はない人は自ら調合して使つた方が趣味も深し、又研究にもなりますが、是を面倒だと思ふ人は既製品を買つて使へば便便であると云ふ位の差です。

現像液の處方は種々ありますが一番簡便にして又良果あるはアミドール現像液でしょう。

暗者が水薬を入れて呉れる薬場の大人二日分

是が丁度百ccですから其一番上の線まで水を充たし其中に、

無水亞硫酸曹達……………五、五(一匁三分三)

アミドール……………一、五(二分六厘六毛)

臭素加里……………一、五(米粒二粒位)

を入れ栓を固くしてよく振り動かし、全部溶ければ去で現像液は出来上つたのです。現像液で乾板でも「フィルム」でも印畫紙でも皆現像出来ます。

ベスト判のロールヒルムにはイリストマン、イムベリヤル、アグフア、バイエル、イムホード等がありますが、イリストマンが一番歴史が古い丈けに又一番宣傳が甘いのに一番世界的に廣く行はれて居ますが、寫度は乾板の半分以下

です、イムホールドとイムベリヤル(ライオン)は近頃出来たのですが寫度は「イリストマン」より遙に早く、乾板同様でかぶりもなく上等ですが耐久力が疑問とせられて居ます、新しいのを使へばイリストマンより上等です。

アグフアは寫度遅く陽部の肉乗りが強過ぎて影の部が寸ば抜けになる傾向がありますが海岸の砂原や、雪景などには好適ですが冬の日向と日影を含む量などには頗る不向きでした。併し最近に來た者は大に改良せられて寫度もイリストマンより早く差調も軟かで乾板と大差なきまでに進歩して居ます、価格は小賣値段として、

イリストマン……………六五、〇^銀

アグフア……………五五、〇
ライオン……………五五、〇

イムホールド……………五五、〇

冬期快晴の日で十時から二時頃の間で野外ならベストで、⁷秒が辛ふじて利きませうが近景や人物などは到底無理です、日産ならばBで約¹/₂秒位は必要です、海洋や雪景の晴天ならば¹/₆₀薄雲ならば¹/₃₀、暗雲ならばBで出来る丈け早く、位の所でしよう。

スクリーンの試験は藍色乾板三枚を犠牲にし一はスクリーン無しに適當と思ふ露出を掛け、

次にスクリーンを裝して初の露出の五倍を其次に全じくスクリーンを裝して十倍を掛け同時に現像すれば其結果に依て大凡の倍數の見當が

つきます、細密に見定めるには尙ほ一度試験を繰り返せはよろしい。

問

ライオンロールヒルムは特に感光度が速いと書いてありますがイーストマンやアグファのヒルムに比し何の位速いのですか、又保存期限やゲラデーシヨンの具合は如何でしょうか、何御いたします。

日本橋 春山 花鳥

答

ライオンロールヒルムの寫度はスタンレーやイルホルド赤札位と同等です、イーストマンやアグファはライオンヒルムの速度の半以下です、併し保存力に於てはイーストマンより劣る様で稍古いのはかぶりを生し差調アラツ

トに成つて居る事々々です。

問

貴下發明の轉寫現像紙を求めましたが、膜を剥す時コロヂオンの薄層が一所に剥けて來ていつも失敗して居ます、あいつが引いて來ると軟かなゼラチン膜をぎゆうと巻き込むので散々に破れて仕舞ます、是を防ぐ何とかよい方法はない者でしょうか。

新潟縣 藤井 儀一 郎

答

轉寫紙の膜を水中で剥ぐ時にコロヂオンの薄層がゼラチン膜の一部に附着したまゝ剥れて來ると、其部分がひつりの様になつて始末に了へない事は度々ある事です。

そこで夫を防ぐ方法としては現像する前に紙

の接邊を一部分剥で切り取る事です、是は工場で多數を重ねて斷裁する時に露ち口の所が強壓される爲にコロヂオンと原紙の間が離れかゝつてコロヂオンはゼラチン膜の方へくつ附て離れる傾向があり、之を現像し、定着し水洗してもコロヂオンとゼラチン膜とは離れずに一所に原紙から剥れて來る事になるので、此傾向の出発點たる接邊の方を豫めはさみではさみ取ると此原因が除かれます。

又剥れたゼラチン膜の一小部分にコロヂオン膜が附着して居る所があつたら、指先きて丁寧に擦つてコロヂオン膜とゼラチン膜とを剥かし、剥けかけたコロヂオンの薄層を爪ではさんで引つ張ると丸で玉子の薄皮をむく様にコロヂ

オン膜がはげて來ます。

此轉寫法を用ふる時には定着液に硬膜劑を加へない、ハイボ丈けの水溶液を用ひ水洗水中に少し永く漬けて置くと膜面所々に自然に紐ぶくれが出来て其部分を指先きて揉む様にすると樂にはがれます。

繪になる歌

遠つあふみ大河流るゝ國なかば

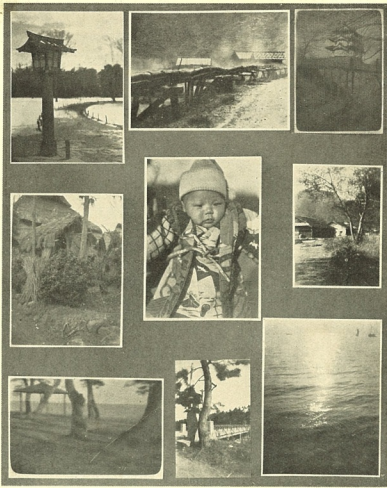
菜の花さき富士のあなはに

品子

小流れの畔に群れたる山羊の見へ

牧場しづけき春の夕ぐれ

赤楊



- | | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|------|
| 1 | 二席 | 小坂 | 榮次 | 郎男 | 元繁 | 二誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | リリー | F7.5 |
| 2 | 二席 | 青木 | 茂高 | 橋 | 誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | リリー | 二號 | A 號 |
| 3 | 三席 | 高橋 | 誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | リリー | ヘリア | アル | B 號 | F4.5 |
| 4 | 四席 | 高橋 | 誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | アル | ニ號 | スベ | リリー | F8 |
| 5 | 四席 | 高橋 | 誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | アル | ニ號 | スベ | リリー | F6.8 |
| 6 | 四席 | 高橋 | 誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | アル | ニ號 | スベ | リリー | F6.8 |
| 7 | 四席 | 高橋 | 誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | アル | ニ號 | スベ | リリー | F6.8 |
| 8 | 四席 | 高橋 | 誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | アル | ニ號 | スベ | リリー | F6.8 |
| 9 | 五席 | 高橋 | 誠 | 久男 | 七郎 | 野島 | アル | ニ號 | スベ | リリー | F6.8 |

誌友諸君に告ぐ

昨年の暮、誌友規定を發表しましてからまだ百日になるかならないのに、誌友申込は續々として相續ぎ既に百餘名の多きに達しました。

誌友規定を發表する事に就ての私共の氣持が斯く計り早く皆様に御了解して頂け様とは思ひ設けませんでしたので、今此意想外の反響に對し大の感謝と感激とに打れます。ついでには初に御約束した「御守役となり、相談役となり、向上發展の御手傳ひ」と云ふ事をして單に抽象的な世間並みの宣言たらしめず、何等かの法方を以て是を具體化し少し宛でも其實績を擧げる事の急務なる事を考へまして其一端として左の仕事を始めます。

一、誌友諸君が今迄に製作せられた原板の中上出来だと自任せられる者、不出來だ失敗だと意思せられる分良否取混ぜ一人五枚までを限り御送付を願ます勿論成る可く詳細に撮影時其他現像等の條項を附記せられたし。

本社は詳細に夫等原板を調査し其良否の度合、失敗の原因、救済法、焼き付けに適應する印畫紙等の意見を評記し且つ其各原板に對する標準印畫を作り是を添へて御返送致します、是等は凡て無料にして、只返送の際の小包郵便料として郵券拾貳錢添付せられ度し。

二、内外の寫真材料説明書、見本、小冊子等を隨時母會宛、或は誌友個人宛贈呈す。

以上

新誌友御紹介

□□□□

同(農業試験) 仲野 恒夫
同(所技師) 後藤吉三郎
福島郡(福島警) 田村町(警察署長) 仁井田 稔
郡山市(酒造業) 守山市(藥劑師) 三澤 昇三
創立 大正十三年七月

ボブラ會

長野縣松本市
會員 平林 保雄 神田吉太郎
藤井 實 松澤榮三郎
三原 康男 片桐榮次郎
百瀬 經義 赤穂 昌次
大輪 義雄 伊藤 律治
關 益治 林藤 清重
創立 大正九年六月

郡山光書俱樂部

福島縣郡山市
會員郡山市(砂糖卸商) 鈴木 正雄
同(通支店長) 赤城 健輔

同(郡山驛長) 福富 孝彌
同(縣立農事試驗) 木村 隆
同(金屋藥) 安藤久兵衛
安積郡桑野村 有江 有三
郡山市(警務村) 渡邊 健次
同(專賣局官吏) 吉川 要
同(運送業) 坂本兵三郎
同(理髮業) 大野 久松
同(齒科醫) 鈴木 廣太
同(菓子商) 本名 徹次
同(自轉車業) 本田 榮助
同(建築技師) 加瀬 元吉
同(郡山驛員) 遠藤祐四郎
(寫眞師) 吉川 兼重
會員郡山市(洋服商) 山口 哲吉
同(酒造業) 渡邊 茂

山梨峡北カメラ會

山梨縣韭崎町
會員 乙黑 重利 岩下芳太郎
乙黒演次郎 八巻 仁八
大谷千代造 本木 武雄
樹本 菊麿 毛利 益男
中村 辰雄 小澤猪見馬
堀内 角平
創立 大正十三年三月

C・M・R俱樂部

和歌山縣橋本町

會員 津奉 喜一 河内喜三郎
奥田哲之助 前野市太郎
木村 壽一 岡本 忠一
橋本 利夫 寺島 信一
加藤 昌一 小島 武
平林 正火 齋 信夫
創立 大正十二年四月

宮工素光會

宮崎縣宮崎市
會員 牧山 齋 黒木 高節
土谷 豊彦 日高 一郎
浴 一良 松本爲一郎
櫻井仙太郎 石谷 貞夫
福原 榮人 黒木 正義
吉岡 利雄 足穂 悌三

創立 大正十三年四月五日

光友會

福島縣藤田町
會員 佐藤 節 東海村三郎
高野伊與太 佐久間幸吉
秦 誠治 高橋幸吉
阿部明英 秦長次郎
奥山 龜一 阿部源七
篠山 篠一 佐久間勝次郎
創立 大正十三年九月六日

小湊交友俱樂部

青森縣東郡小湊町
會員 飯登谷鐵之助 辻村濱次郎
畑井 平造 吉田小三郎
笹原喜太郎 川越 三郎
今井 良雄 本堂 寛藏
畑井 忠次 畑井 米藏
小形 傳吉
創立 大正十三年十一月

薬科會

静岡県葛西村
會長 鈴木達一郎
會員 増田友治郎 鈴木 てる
鈴木 てる 森藤 敏郎
佐藤 隆一 生馬 源一
青山 芝郎 秋山九馬男
小長井麻次郎 佐藤 かん
佐藤 陸夫

談話室

□「新春の巻」五〇頁に雑誌「寫眞の趣味」は小西の物でなく六機社の……と立派に掲載されてありますが、裏表紙裏面には「小西の寫眞書」と見出しがつけられてありますのは一寸變ではありませんか。

（日本橋 春山花鳥）

記者曰く、「小西の寫眞書」と書いてあるのは、「小西發賣の」の意味で「小西の物」と云ふ意味では全然ありません。小西で發賣仕様が、六機社で發行し様が「寫眞の趣味」は永永物に確實に三千の讀者諸君の物である事を宣言致します。

□前略我が會を山梨城北カメラ會と稱し大正十年三月會を組織し會員十五名一昨年は本會發賣の床に撮影を昨年は房總本島一端に三日を費し候。

をなし、ぼつ／＼田舎の寫眞趣味を記録を残り居り候。又本年は我が會員より入隊兵二名を送り又營業寫眞家を出し初春より當地に堀内寫眞館を開業仕り候後略。

（山梨縣某町 八巻仁八）

□福月發行を月刊に致し度い。月初に發行致す様に尙一層努力を願ひ度い。實際から印象への色の變化の如き實際的記事を書いていただき度い。

（R.N.）

□私も毎禮拜見致して居る一人で御座います。初春の巻に和子様の御有つたとほり、最近婦人の作品に相當な立派なものが出る事を喜びます。私も何となく其の様なお仲間に入り度いとつく／＼感じました。私達（余込 清子）記者、何卒振つて趣味の爲めに御勉強あらん事を祈ります。御不明の事は何でもお問合せ下さい。

□僕等アマチュアの爲めに種々な光明を與へて下さる江頭先生始め皆様の御盡力を深く感謝して居ります。いづれ自信ある作品を御覽に入れ度いと考へて居ります。

（神奈川 越水保）

記者、いづれと化物は出た例がないそうですが貴方はマサカそんな事はなうと楽しんで居ります。

□「駄目だよ／＼そんなに笑つちやチヨツ／＼仕様がなないね」

彼はリリーを推つたまゝもどかしそらにS子の顔を見た。

「だつて……」彼女の袂の口にあて、體をゆすつた。

「ソレもつと平氣で居なれやいけなないよ」彼はむす／＼顔をすればする程S子は尙笑ひこける。

「チヨツ／＼よめるなあ……」と彼は空を見つめる。

「また藝術寫眞家が始めましたね」

「日あたりのよいえんがわに母がニコ／＼笑ひながら立て居たそれは、小春日の梅咲く庭の一隅にて。」

（市外 加納春榮）

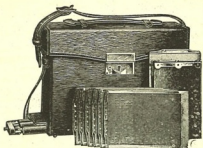
ニートリリ

（三脚收載装置輪 實用新案一〇八二五）

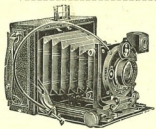
附屬品

金屬製片面版伸六調
バツクホルダー上等革輪

手札判



普通輪 新案付
デルタス P/6.5 ガマツクス 九〇、一〇五、一
プロ四類 P/6.5 ビダクス 一〇〇、一二五、一
スリト P/4.5 同 一五五、一七〇、一
セナー P/4.5 コムパー 一五五、一七〇、一
ヘリア P/4.5 同 二〇〇、二二五、一



號壹アテイア

R R 附 二九、一
デルタス P/6.5、一
三、五、一
プロ四類 P/6.5
一、五、一



號貳ルーバ

R R 附 二六、一
デルタス P/6.5 附
三、一、一
プロ四類 P/6.5
四、一、一

東京 東町二丁目 小西六本 支店 大阪 長橋 支店

品見切特賣

トロボンヘーグ10號カビネ[P]
R〔カールCテッサ-F/4.5枠
3ホルダ3〕 27.00
310.00

【鏡玉】

B.L.Cテッサ-F/4.51番名刺
並 刺 61.90
カールBテッサ-F/6.315番
ピアシッター付 ハガキ 17.50
エキストララビッツアブラナ
イフシヤター付 ハガキ 22.00
同 パリオシヤター付 同 24.00
同 コンビアシヤター付 同 30.00
同 イフシヤター付二枚掛
アロントシヤター 同 17.00
同 シングルシヤター付 同 15.00
同 シングルシヤター付 名刺 7.00
クツク2類6時F/4.5 並 扇
ハガキ 80.00
同 アタミシヤター付 同 92.00
同 7時F4.5 並扇 カビネ 72.00
同 7時オプチモシヤター付
同 85.00
同 7時コンビアシヤター付
同 86.00
同 A2類9時F/3.5 同 150.00
同 3類6時7/8 F4.5 アタミシヤ
ター付 二枚掛 46.00
同 2類オプチモシヤター付
同 50.00
同 3類7時半 並扇 カビネ 52.00
同 3類7時半コンビアシヤター付
同 62.00
同 3類9時半 並扇 八切 80.00
同 4類4時F/6 並扇 カビネ 78.00
同 5類13時F/8 並扇 小四切 110.00
オーレンサツク
ウノスチダグマツト1F類3番/6.
3 オートシヤター付 カビネ
同 同 2類3番F/4.5並扇 同 65.00
同 同 2類3番オートシヤター付
同 同 90.00
同 同 2類3番オプチモシヤター
同 同 90.00
同 同 2類2番同シヤター付 78.00

ホッパ00號「P.R.」(復玉片枠六
個付) 27.00
同 1號「P.R.」カールBII/F/6.3
片枠三個) 100.00
イノストマンコダツク スペシ
ヤル1號「R」(B.L.C1類テッサ
-F/4.5) 155.00
同 A1號「R」(アナスタグマツ
トF/7.7付) 85.00

【手札判】

●リバー1號「P.F.」(ボルトスF/8
兩枠3ボター種) 48.00
○同 「P.F.」(R同上付) 43.00
●同 「P.F.」(アイデアF/7.5同上
付) 6.200
ヘーグ2號「P.F.」(D.A 鏡玉片
6付) 47.00
●同 11號「P.F.」(同上) 70.00
●ボッパ00號「P.R.」(同上) 50.00
同 2號「P.R.」(カールテッサ
-BII片枠6付) 150.00
●トロベッククラブ「P.R.」(カール
テッサ-C1 F/4.5 ホール
フレンチヤヤター付) 245.00
●リバー「P.F.」(B.L.テッサ-
F/6.3兩枠3ホルダ付) 130.00
●同 「P.F.」(アイデア付 同上) 70.00
スベシヤルリバー「P.F.」(クワ
タF/68上右 コンビアシヤ
ター) 150.00
●パール4號「P.R.」(ホルダス鏡玉
4個) 40.00
同 「P.F.」(ベロ4類F6.3ベタツ
クスシヤター) 63.00
右用取枠片面6個1組 9.50
同 ヒルムホルター 5.00

【カビネ・ハガキ判】

アルビンハガキ「P.F.」(コリニ
アF/6.3片枠6ホルダー) 270.00
●ヘーグ2號「P.F.」(カビネD.A 片
枠6ホルダー) 75.00
メダルスアブリダ「P.F.」(コリニ
アF/6.3兩面枠3ホルダーカ
ビネホールカールプレレンシヤ
ター付) 320.00

棚卸整理

【カメラ】

【ベスト・アトム判】

●アンスコ0號「R」(單玉付) 16.00
●同 「R」(アナスタグマツト
F/7.5) 38.00
●同 「R」(同 F/6.3) 50.00
●ボッパ1號「B」カールBIIテ
サ付) 55.00
ニッパ-「R」單玉付) 3.50
●ベストテナキス「P.F.」(ダゴ
ール鏡玉片枠六ホルダ付) 165.00
●同 「P.F.」(ドグマーF/4.5片
六ホルダ付) 175.00

【名刺判】

●リバー「P.F.」(ボルトス鏡玉付
片面枠六ホルター 45.00
●同 「P.F.」(コリニアF/6.3上
同付) 35.00
●同 「P.F.」(ベロスチダグマツト二
類F/4.5上同付) 115.00
アンスコ1號「R」(XバートF/6.3
付) 58.00
●同 2號「R」(アナスタグマツト
F/6.3付) 55.00
●同 2號「R」(アナスタグマツト
F/7.5付) 38.00
スベシア「P.F.」(ベリスコー
鏡玉片3ホルダ付) 19.00
テソール「R」(カロスチダ
トF/6.8付) 55.00
●フレモ12號「P.F.」(B.L.テッサ
付F/4.5片枠3ホルダ付) 320.00
●同 「P.F.」(B.L.テッサ-F/6.3
上同付) 110.00
スベシヤルリバー「P.F.」(ベロ
スチダグマツト2類F/4.5) 330.00
ヘーグ2號3類「P.」(カールテ
ッサ-B.II F/6.3付) 128.00
●同 15號「P.」(エルナー-F/6.8片
枠6個付) 550.00

●は種別れ品「R」は「ローレルヒルム」Fはバツクヒルム「P」は乾板使用のもの「F・P」はバツ
ク乾板使用のこと

棚卸整理の結果見本品として輸入したものは又は陳列中多少棚卸れとなつたものを左記の通り特別の見切価格を以つてお願致します。見切品にて使用上缺點のある様なものは一品もありません。但し数量は僅かです。見切大第切と致しましては直ぐに御注文を願ひます。又御注文品買切れの場合一々照會中此の御希望品も又々買切れとなる場合は往々ありますから念の爲め第二第三の御希望品を御書添へ願はるれば好都合で御座います。尚御注文書にも「棚卸特賣品」何々と御記入を願ひます。

光力即ち能力

【製作標語】

最上の質
至廉の値

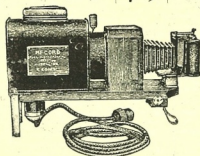
レコード引伸器

特一 舶來高級コンデンサー附
長二 光力強烈比類なし
三 操作圓滑堅牢體裁良

ミニエテユア
レコード

ベスト判

Y 3

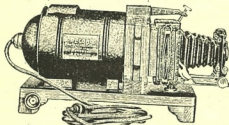


レコード

名刺判

手札判

Y 55 Y 45



(是通書明説)

東 京 小 西 六 本 店 支 部 橋 長 阪 大 東 京 小 西 六 本 店 支 部 橋 長 阪 大

新 着 品

SINCLAIR

AUTOTYPE

BROMOIL PIGMENTS

CARBON TISSUES

オートタイプ會社製

カーボンチツシユ

- チツシユ四初半
 - ＃93 (テラコ) 　＃95 (チヨコレイト) 　＃67 (ウオーム) 　＃ (スタンダード)
 - ＃103 (ウオーム) 　＃104 (エンゲレイベン) 　＃105 (セキヤ) 　＃ (パール)
 - ＃113 (ポットレ) 　＃151 (シーグリーン) 　＃152 (ダイク) 　＃154 (カイヤ)
 - ＃160 (ブラチナム) 　＃162 (アラウン) 　以上各一打四圓 一枚四十錢
 - ＃153 (グライト) 　＃161 (バイオレット) 　以上各一打五圓 一枚五十錢
 - ＃100 (粗面クリーム) 　＃110 (粗面白) 　＃202 (粗面厚手) 　以上各一打三圓 一枚三十錢
 - ＃76 (粗面白) 　＃77 (粗面クリーム) 　＃202 (粗面クリーム)
- 複轉寫紙四初判
- 倍轉寫紙四初判 一打四圓五十錢 一枚四十五錢

シンクレヤ會社製

オイル印畫用品

- オイル繪具
 - パレット、シナ(焦茶色)、フオリエジ、グリーン(濃綠色)、インジゴ(藍)
 - カドウム、エロー(濃黃色)、レッドチヨータ(紅色)、ウァジリアングリーン
 - エンタルマシシ 　エンタルテルル、ダウス 　チュエー 　各一個一圓
 - ロバートン溶油 　一本 七 十 錢
- オイル刷毛
 - ＃0 一圓三十錢 　＃3 三圓二十錢 　＃10 三圓八十錢
 - ＃14 五圓八十錢 　＃18 九圓五十錢 　＃24 十五圓五十錢
 - ＃70 二圓五十錢

東 京 小 西 六 本 店 支 部 橋 長 阪 大 東 京 小 西 六 本 店 支 部 橋 長 阪 大